

Caliper Repair

HAYES TECHNICAL INFORMATION

* Caliperの修理は、バイクから外し分解して行います。

1. Mounting Bolt 2本を外し、バイクからCaliperを取り外します。
2. HoseとHose Fittingに問題が無ければ、HoseをCaliperから完全に外します。
注意：G1 Caliperの場合：4mm六角レンチを使いBanjo Boltを外します。この時、BanjoとHoseは外さないで下さい。もしBanjoを外してしまった場合、組み付ける際、新しいCompression Bushingを使わなくてはなりません。
注意：G2 Caliperの場合：10mm 片口スパナでHose Connectionを外します。
3. 5mm六角レンチで2本のBridge Boltを外すと、内側と外側のCaliper間からTransfer Port O-ringが現れます。
4. O-ringを取り外し、切れ・消耗・変形がないか点検します。
注意：O-ringを外す際、フルード漏れの原因になるのでCaliperの溝に傷を付けないで下さい。
5. 圧縮空気を使用して、CaliperからPistonを外します。
警告：必ずアイプロテクションを使用して下さい。
注意：Pistonを破損してしまいますので、ペンチでPiston先端を引っ張らないで下さい。
6. 指先でBleeder Holeを塞ぎ、Pistonを下向きにした後、圧縮空気をBleeder HoleかBanjo Holeから一気にキャリパー内に注入し、PistonをCaliperから排出します。
7. 注意深くSquare SealをPiston Holeから取り外します。
注意：Square Sealを外す際、フルード漏れの原因になるのでPiston Hole内部に傷をつけないで下さい。楊枝や樹脂ピックを推奨します。
8. 全ての部品を洗浄し、イソプロピルアルコールですすぎます。必ず、Caliper内部全ての穴を洗浄して下さい。
9. 清潔なウエスで各部品を拭いて下さい。その後、Caliper内部の微量な汚れを掃う為、圧縮空気を使って下さい。
注意：傷・汚れ・異物などがあつた場合、フルード漏れの原因になりますので、特にSquare Seal 取付溝は念入りに点検して下さい。
10. Caliperの組立を開始します。新しいSquare Seal全面にDOT 4（又はDOT 3）ブレーキフルードを指で薄く塗布し、Caliperに取付けます。
11. Square Sealが正確に溝にはまっているかを確認後、Piston 外周にDOT 4（又はDOT 3）ブレーキフルードを指で薄く塗布し慎重にCaliperに押し込みます。PistonがPiston Holeにしっかりとハマるまで押し込みます。
注意：Pistonは簡単に押せます。もし引っ掛かり等がある場合、PistonとSquare sealを取り外し、再度組み付けて下さい。
12. フルード漏れの原因になる傷・汚れ・異物が無いかCaliper凹部（Transfer Port O-ring 取付け部）を検査します。
13. Caliper凹部にTransfer Port O-ringを置きます。
警告：O-ringはHAYES純正品を必ずご使用下さい。これらのO-ringはDOT 4（又はDOT 3）ブレーキフルード対応の特別な素材です。不適当なO-ringを使用すると、フルード漏れの原因になる恐れがあります。
14. Transfer Port O-ringに注意しながら、2本のBridge Boltを均等に締め付けます。
【締付トルク：110 in.-lbs +/- 10 in.-lbs】
15. 作業中Caliperに付いたブレーキフルードに、イソプロピルアルコールを吹きかけ清潔なウエスで拭き取ります。
注意：上記の作業でBleeder Fittingを交換する必要はありませんが、Bleeder Fittingのネジ部シール剤が磨り減った場合テフロンテープを巻いてフルード漏れを防いで下さい。
16. Banjo O-ring (G1 Caliper) 又はHose Connection Seal (G2 Caliper) に切れ・裂け・消耗がないか点検後、CaliperにBanjo Bolt (G1 Caliper) 又はHose Connection (G2 Caliper) を取付けます。
17. フレームがフォークに組付け、Bleedingをして下さい。
注意：Bleedingについては、” HAYES DISC BRAKE Bleeding ” をご参照下さい。

